

毎月14日は「大津町教育の日」 学校（幼稚園）に来ては14

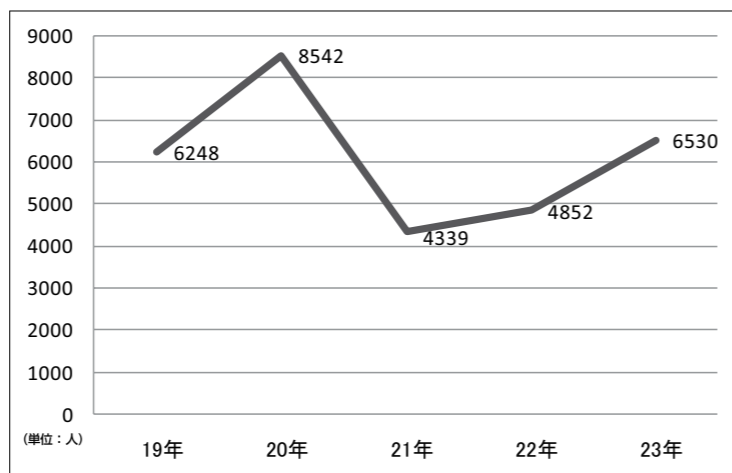
町では、毎月14日を「大津町教育の日」として学校などを公開し、学校生活の様子を参観してもらい、子どもたちの姿を通して今後の大津町の教育について、広く町民の皆さんとともに考える日としています。

この取り組みは、平成14年5月から始まり今年で10年目になります。各学校は教育の日（14日）に合わせて学校行事を行うなどして近年では年間参観者の数が増えています。今回は、各学校・幼稚園の取り組みを代表して大津小学校と大津東小学校を紹介します。

参観できる学校・幼稚園

大津幼稚園、陣内幼稚園、
大津音楽幼稚園、白川幼稚園、
町内の全小・中学校、
大津高校、翔陽高校、大津支援学校

- 実施月：4月～3月まで（8月は除きます）
- 14日が土、日曜日、祝日の場合は、繰り延べます。
- 当日は、全日オープンスクールです。都合のつく時間帯に訪問できます。



教育の日年間参観者数（町立幼稚園、小・中学校）

大津小学校の取り組み

「大津町教育の日」は、大津小の教育内容を広く保護者や地域の皆さんに理解してもらう日として取り組んでいます。多くの皆さんに来校していただくよう、事前に「大津町教育の日」の案内文を家庭へ配布するとともに、メールなどで周知をしています。おかげで毎月100人近くの人に来校してもらい、校区の皆さんの学校教育に対する関心の高さがうかがえます。特に、児童の祖父母や入学前の子どもを連れた保護者など、定例の授業参観時には来校できない人の姿も多く見られ、参観者の幅広さを感じています。今後も、多くの皆さんに学校をより身近に感じてもらうための取り組みを工夫していきたいと考えています。

大津東小学校の取り組み

大津東小は町の東に位置する小さな学校です。今年度は児童数55人、職員数13人の合計68人です。町内で一番の小規模な学校ですが、保護者や地域の皆さんの学校に対する協力は絶大で、学校行事など、さまざまな体験活動ができます。左の写真は6月の「大津町教育の日」に学校に来てもらった皆さんとのNIE（教育に新聞を）の授業とその後の給食の様子です。このように、いろいろな場面で地域の皆さんと触れ合っています。



町内全ての幼稚園、小・中学校および県立学校を誰でも自由に参観できます。多くの皆さんの参観をお待ちしています。

●問い合わせ 役場学校教育課 教育政策係 ☎096(293)3349

平成23年度 特別会計決算額

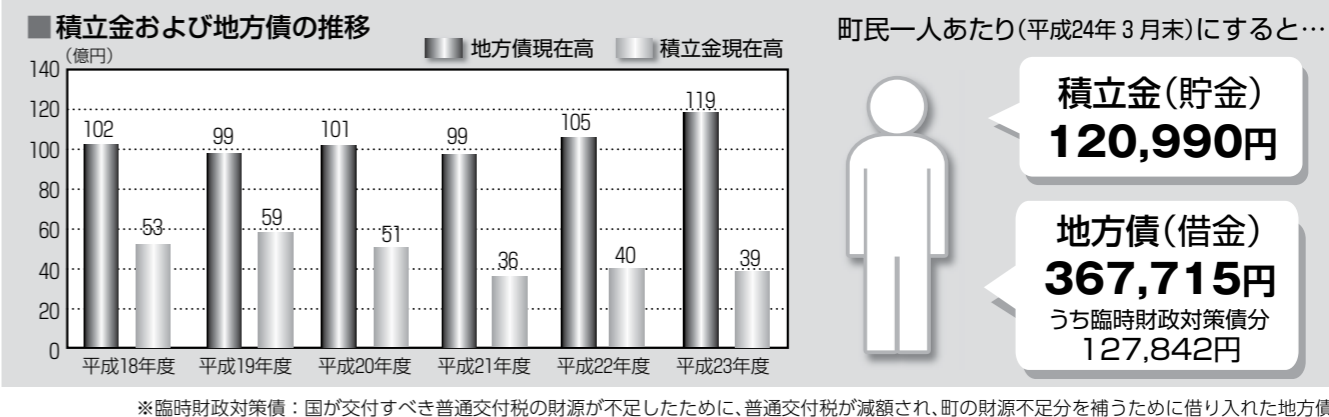
歳入 **69億5,534万円** 歳出 **65億7,278万円**

※表示単位未満を四捨五入しています。事業会計は含んでいません。

特別会計とは、特定の事業を行う場合に、特定の収入をもって支出にあて、一般会計とは別に収支経理を行うことです。大津町には、6つの特別会計と1つの事業会計があります。

特別会計	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	30億4,325万円	27億9,921万円
大津町外四ヶ市町村共有財産管理処分事務受託特別会計	373万円	183万円
公共下水道特別会計	12億2,762万円	11億8,963万円
介護保険特別会計	20億2,097万円	19億4,293万円
農業集落排水特別会計	4億1,587万円	3億9,691万円
後期高齢者医療特別会計	2億4,390万円	2億4,227万円
特別会計合計	69億5,534万円	65億7,278万円
工業用水道事業会計	6,509万円	4,117万円

町の貯金と借金(平成23年度末)		
貯金	財政調整基金現在高	18億3,421万円
	減債基金現在高	3億2,906万円
	公共施設整備基金現在高	8億736万円
	その他の基金現在高	9億3,603万円
合計	39億666万円	
借金	地方債現在高	118億7,314万円



町民一人あたり(平成24年3月末)にすると…

積立金(貯金)
120,990円

地方債(借金)
367,715円
うち臨時財政対策債分
127,842円

※臨時財政対策債：国が交付すべき普通交付税の財源が不足したために、普通交付税が減額され、町の財源不足分を補うために借り入れた地方債

平成23年度の大津町の財政は健全な状態

健全化判断比率・資金不足比率をお知らせします

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定され、健全化判断比率として4つの指標(「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」と「資金不足比率」)を算定し、公表することになっています。平成23年度の決算から、比率を算定し「早期健全化基準」と比較すると、町の財政は健全な状態ということが分かります。

- ①実質赤字比率…一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示す比率です。大津町は実質赤字です。
- ②連結実質赤字比率…全ての会計を合算し、全体の赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示す比率です。大津町は全会計赤字です。
- ③実質公債費比率…一般会計などで負担する借金の返済額などを指標化した比率です(3年間の平均値)。
- ④将来負担比率…一般会計などの借金の返済額など現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す比率です。
- ⑤資金不足比率…公営企業ごとの資金不足額の比率で、経営状況の悪化の度合いを示す指標ともいえます。大津町は公共下水道、農業集落排水、工業用水道の各会計とも資金の不足額はありません。

①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率	⑤資金不足比率
- (14.05)	- (19.05)	13.0 (25.0)	33.5 (350.0)	-

※()内は早期健全化基準です。①、②、⑤は黒字のため“-”を表示しています。